

住宅用火災警報器の維持管理

火災が起きた際に、きちんと作動するよう、定期的に確認する必要があります。

定期的なチェック！

ボタンを押すかひもを引いて、作動確認をしましょう。

正常を知らせるメッセージもしくは火災警報音が鳴ります。

(例)

テスト中です
テスト中です
テスト中です



正常です
火事です
火事です



確認し反応がなければ、電池がきちんとセットされているか確認してください。それでも、警報音等鳴らない場合は、電池切れもしくは本体の故障です。

.....?



※警報器の作動確認は、春秋の火災予防運動の時期に行うなど、定期的の実施しましょう。

10年を目安に本体交換をおすすめします。

住宅用火災警報器は、古くなると内部の電子部品に故障や電池切れなどが発生し、火災を感知しなくなることがあります。

各ご家庭で設置から10年を経過した警報器はありませんか？